十九年を迎えて

るものゝ如く思われます。

松

画を樹立決定して実行に移 について是非共本年中に すが私は、この二つの問題発生するものと予想されま

は更に数々の固難と問題が

極めて意義深い年でもあり

私はてくに新春を迎

て私達日本国民にとっては が行われる年でもありまし 昭和39年 1 月24日 発 行 所 宮崎県東旧杵郡 **「郷 村 役**

で挙村一致の体制を更に堅

み出す年であり、その意味 るための本格的第一歩を踏 をこめて将来への結実をす 年こそは村政が多くの期待

持強化すべき年であると確

祭典東京オリンピック大会 本年は国を挙げての世紀の 世紀の

場

七

草

粥

山陰郵便局長

北

牧

任以来村政の方針として努 私は年頭に際し私が村長就

刀してまいりました「村民

致しています。まさしく本

迎

0

詞

東郷村議会議長

の発起点とする決意を新に

取組み本年をして本村躍進

ら祈念致しまして新年の御との一年が幸多かれと心か

絶大なる御指導と御鞭撻と

謝致しますと共に今後更に る村政に対する御協力に感 え、村民各位の過去に於け

せず更に意慾を盛んにして

よう、あらゆる困難に屈

兀



しました三池三川炭鉱の爆 近年最も多数の死傷者を出 近年最も多数の死傷者を出 発生を初め衆議院議員、知メリカ大統領の暗殺事件の を感じましたケネディア 驚き瞬間強い悲しみと憤り 年頭に際し毎年のことなが 様と共に全く慶びに堪えな ら昨年はどうであったか自 教春を迎えましたことは皆 望に満ちた昭和三十九年の 処であります。さて私は 明けましておめでとうご 即ち、全世界の人々が 忙な年でありまし 第五次内閣の誕生、新産業 都市指定地域の確定等々大

「重衝突事件の発生、池田」る青年東郷村の姿を表徴す

に明け暮れた所謂明暗二相 小数々の事件の発生と選挙 のであります。 の多忙な年であったと思う

は今後大きく躍進せんとす す。虚空を駆ける天竜の姿 協力をお示し下さいました このことは、村民の皆様方 も漸次上向きの方向に積み 善。等々村政は地味ながら 坂橋の永久橋の完成。坪 さて本年は辰の年でありま を申上る次第であります。 結果でありまして厚く御礼 重ねられつゝありますが、 財産の造成、役場の事務改 着工、村道の整備並に基本 綜合工作室及坪小給食棟の坂橋の永久橋の完成。坪中 寺迫小学校屋内体操場及羽 のもとに絶大なる御指導御 が村政に深い関心と御理解

加えていますが、いずれも 区新産都市建設の大計画に 二年前より種々調査検討を す。この二つの計画は過去 多年その実現を念願し努力 最大の努力を尽す覚悟であ 向を決定せんとする農業構 伴う本村の計画樹立であり ります。その第一は私共が 造改善計画の樹立でありま して参りました日向延岡地 のことについて皆様と共に 第二は本村農業の方

取組み今日に至りましたが 改選期に当り前代未問 都市内定の朗報を得、重ね は極めて厳粛なる事であり 本年は本指定確実と仄聞 統一地方選挙に指を屈し の間日向延岡地区新産業 たされました。このこと しょう。本村議会議員の 爾来二 の最大関心事でありま の議席が決定 の選良村政と

内政面に関しましては機構 達成に努力を重ねたいと存 は劃期的事件であり一大英 ます。一方一般事務即ち 村民各位並に村外在住の多 たり重ねて村政の発展と 村民各位の御協力をお願い 敢に踏み出したいと存じま れを補い慎重な第一歩を勇 本村将来の対策の万全を期 むる為、執行当局と協力、 案の事業推進を容易なら たいと存じます。何とぞ 茲に新春を迎えるにあ 転昨年の到らざるはこ 「飜えされた心」で周囲の ととは不幸なことだと思う たとは不幸なことだと思う

内

田

司

明るさを見出して行くこと

悟する。

るは最も勇気なきものと覚 きたい。己れを偽り人を偽 をもってこの年に処して

茫然として驚き、省みて自

一大飛躍の年となるよう祈年度は辰年に因んで本村が

松田希農典

めでとう御座いま

ってやみません。

弘

困難が伴い結論を出す迄に問題が大きいために多くの

要でございます。 臨海工業地帯に進出する工 町村の期待する処絶大で は今尚勘ないのでありま る次第であります。細島 て県民の一層の努力が必 すことは、真に慶賀にたえ る視野に立って新生東郷村 ません。議会は本年を新な 努力が傾けられつゝありま 行財政長期計画を初め懸

世の中には何と「明るいこ

いこと」が多くあること

気とは己れの内より発する べてを失うものと言う。 りも勇気を失うは人世のす

明るさを求めて行こう。

河野

申上げます。年改まって心 生へつながる道かと思われに努力することが幸福な人

変り栄えのしない平凡なこ 一、新国道開通に伴う運動 、まず健康回復 場の整備の夢 学校を花で埋たい

を以て世を処する人のみ幸 然として時代を達観し自己をなければ進歩もない。一 理ではない 感じているのが現代人の心からの境地に不安と焦燥を 不安と焦燥のある処安定 かと思う。

信泰 年であると共に私達は東郷地力を堅めるにふさわしいいる。中心のではいるにいるであるにいるであるにいるである。 松

るので そして人の心も美しい越りの高い蘭の自生する里、 水清く、空気の澄んだ香 遅れてなりましょ ないかと案ずる人 の峠で文化が遅れ よ共々にがんばり

ての生きかたを学び更に社 る社会での母として妻とし

は婦人会活動の中で進展す

でとうござ

います。私たち

みなさま明けましておめ

八千代

といの場であってほしいも

ためにも婦人会は楽しい

力したいと思います。その

会性をも身につけるよう努

一丸となって推進致したい他力本願主義を排除し村民 業構造改善事業の計画推進 根本的に改革せんとする農 な課題は、従来の農林業を 都市本指定及農業構造改善都市本指定及農業構造改善 此の問題 重大問題が山積致して居り 致す覚悟を新にするもので 小校長 い視野と行政の大衆題を解決する上に置 清水 して最大の努力を 勘

坪小校長

本村農業が如何にあるべ か、その方向を誤らない

にあると考えます。

願した 新しいカレンダー 柱でよみ 場

三百六十六枚の一日一日が 枚の積み重ねであるよう念 村婦協長

ます。そして老後を元気よ しています。 した気持になりたいと思い り竜の様な勢でさっぱりと く働くことにしたいと念願

問わず色々な問題が発生しるのです。御承知のように 年であったかを反省してみ 事に努力して悔いのない一分の全力を尽して自分の仕

次に本村に於きましては

に努力するは勿論本村住民 による村民のための村政」 つの柱を中心に産業教育、 の将来を決定するものと思 れる重大問題である次 社会福祉の振興充実 い村政の確立」

気で。

ものかをつかんで見たい

感がいたしますが先づ四月題が想起され宛も走馬燈の をいただき無事に送り得ま 明け、多忙に暮れた昭和三 年を偲びますとき各種問 たことは御同慶に存じま 昭和三十九年を迎え御目 八年も村民各位の御協力 高く評価せねばなりません 新しき酒を充たせの原則を このことは新しき革袋には 新

を連ね協力一致村政と取組 て昨年改選に伴ない新進気 す外、各事業の遂行も予定 鋭の議員をはじめ、古豪袖 機会ある毎に広報されて参 自治の本旨に基く住民福祉 み所期の目的達成に真剣な りました次第でございまし 次に議決機関たる議会活動 存じ御同慶に耐えません。 の向上に寄与し得た証左と の量に達しました事は地方 つきましては本紙を通じ 延岡市南中校長 日向市財光寺小校長

かしい問題もつながって来として現われるので仲々難 肝要なことは校長の自覚、追放です。そのために特に この年の始めに希うことは ること」は思いますが…。 教育の正常化という言葉の おめでとうございます。 山本

からである。世界をのぞくからである。 いていくのかと思うと、やい汚れた道が、まだまだ続 からである。 りきれない焦燥に魂がわれ 神門小校長

金銭よりも信用と名誉よ 経営者は孤独だと、近ご 平田 平三郎 発生した社会悪に対しては事件事故の防止に努め反面 どうか昨年に増して皆様方 細些なものでも徹底的に追

の新春を迎え心からお祝申 本村の当面する最も大き 畝原 議 則

るずるが いきたい けるきび けるきびしいふしにするつ よい辰年ですから病気も昇(よだ気) にブレーキをか ざいます。今年はえんぎのねずるべったりの心の惰性 明けましてお目出度うご 村 議 私は元旦を、ず

お願いいたします。 をかけないで事業が順調に る身として皆さんに御迷惑 新年を迎えました。 運行されることを念願して 今年も亦どうぞよろしく 公共性の仕事にたづさわ 陶山 斐

ななくさなづな青し七草 高く起れり七草けふは 七草の粥は真白し七草の 七草粥をいただきてたぶ めでたさを祝ひてたける御国 七草のなづなすずしろたたく音 年 頭 詞 振

山陰警察派出所

藤

延岡市川島小校長 藤

延岡市岡富中校長

甲

鶴

年改まりて殊更に言うことはないが、教育の道に長いこと精進はしたものの、からかえって見て、只恥しならりでした。今年までとばかりでした。今年までとばかりでした。今年までとばかりでした。今年まではかりでした。 では村民の皆様今年も御元 何だか今年は強く生きられ る。聞いて見ると薬箱には 薬箱が外にほうり出してあ 安心して外に出て見ると、 やれ、これで年が越せると 掃除をすまして、

鬼神野小校長 に三年を過ぎ各部落に面識 私も山陰に参りまして既 仲々思うように参りません を得たので村内の事情もあ 発する機会を与えてくれまにして、もう一度新しく出 今年は若さをとりもどし大 針なり計画をたてて見るが すが、そのたびに新しい方 いに張りきって飛び廻り、 るていど知りましたから、

は過去の失敗などを帖消しいります。新年というもの 新年になると、この格言に との格言があります 種の新しさが添ってま とうございます。新春を迎 な転機に直面し農業の構造 を如何に改善し新産都市建 を如何に改善し新産都市建 は今こそ百年の計を打ち建 は今こそ百年の計を打ち入達 は今これが為に旧来の古い意識 を改革 東 小校長 工藤 渡議

せねばなりません。 ん明けましておめで 喜久雄 岩男

がそこに生れそこに育つの がそこに生れそこに育つの だ。めまぐるしい現代生活 で活き抜くには心の平和が み鎮めて健体を培(つち か)い仕事や勉強を快くは る。精神を安静に一日常か かどらせてお互に
ル人つく 何より大切だ。平静不惑、 静かな心、平和な心!!正し き乱されがちな神経をなご 取乱さぬ精神を求めて昔 のり、基盤を築こう。 ら坐禅なども行 坪谷郵便局長 海野 実門

ない即時通話になる予定で加、美々津と待ち合せの別、一、一次のでは日向、門川、西門 す。今まで不便だった電話 に努力したいということで にせず一層サービスの向上 ことは、昨年の経験を無駄 新年を迎えてまず考える 「一年の計は元旦にあ 本年は村勢の躍進にふさわ 雲を得て天に昇とか、村政 は村民各位の協力を得てこ 御自愛豊かな村作りに前進を達成は出来得ます。折角 成を飛躍的に推進せしめる 使命であり新産都市基盤造 改革は農業近代化に即応す しましょう。 原動力とも云えましょう。 す。中んずく農業構造らない意義ある年と信問題の解決に邁進せね

たいものと思う。 民族性をマラソン 坪中校長 鈴木 頼

出して考えドイツ人は考え をとってフランス人は走り ら考える生活の心境になり ているが今年位は走りなが は走りながら考えると評し から走り出しイギリス人 笠信太郎氏が西欧三国

七名、

助役以下役場員三 は十二月十一日か

る外観でした。

ラックに近い牛舎や倉

業機がゴタノ

\置かれてお

たからです。

話がした

いと皆感じてい

らせられる問題ではないよ

見込みはないと思えました 協業など計画してもとても

ことは農民の能力だけに

帰

作の最中でした。私の眼は

の若い夫人を囲んで熱の入

その夜、四人の男と三人

た討論がつづきました。

確かに此の人達の経営は決

と男達に

して順調とは云えない

中で一人がなにやらて

すぼらしいと

いった方が当

田

郎

程場末の小さな鉄工所と

来て貰うことにしまし

のそこには中古の トラックタ

私達農業構造改善審議委

倪察地での印象を紀行文的 詳細な報告は出来ませんが

たがおよそデラッ

つづってみました。

三瓶山麓東ノ原

遍の見学者ならお そら

刈飼料を畑で刈取ると同時

しよう。

だがあらゆる困難

る牛尿散布タンク車や、

してトラックターに引か

ト三輪の衛生車を解体

械に引きつけられました。 非常な興味で一つ~の

にカッターで切って噴き出

を覚悟の上で同志的に結合

技術、経験の不足もありま

れません。計画の不満や

難に対しては卒直に反省し

し理想を共にして失敗や困

綿密な分析と検討を加えて

る態度には皆敬服させら

ました。又此の青年達と

購入すれば高価な金のか させる機械など、い

酪農協業で

失望して帰ったことでしょ

せる小高い牧草地に立って

県に亘って視察の旅をし

視

H

始 式 防 寸

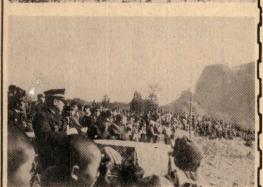
1月7日恒例の消防始式が東小校庭、鶴之内川原で 盛大に行われ総合では第一部 (小野田) 操錬では 第8部(鶴野内)、標的落下では第3部(迫野内) がそれぞれ優勝した。











- 分列行進 点検長の閲兵
- (2) 機材点検
- 一斉放水

に 点晴の年としたいもの

昇竜の意気高々や初暦

も今年は、昨年来描かれた

「農業構造改善」という竜

年」である。本村にとって

◆ともあれ今年は「竜昇の

参観の村人たち

越 一時勢あらたにふり 世に生きれば想ふ事で色彩たもち枯れて のりんどう更に美 川戸千代子 表

う」、「画龍点晴」等々 昇る」「竜の髪を蟻がねら

踞」、「竜は水を得て天に「竜頭蛇尾」、「 竜 蟠 虎

きやま里

り、 「竜は寸にして昇天の気あ

うな道をたどってもらいた 春卒業する高校生にこのよ くないものとつくづく思う 聞くとき、特に明 あり頭に二本の角を有し四 蛇に似て背に八十一の鱗が 面共に長く口辺に大髪があ足に各五本の指を具し耳、 けに人生への警句も少くな ◆こうした神秘的な動物だ て竜王、竜神という。 いる。この動物を神格化しはかりがたきものとされて よく雲を興し雨を呼び神霊 時に自由に空中を飛翔して り地上では深淵海中に潜み ◆干支によりますと今年は え、皆さま方の御多幸をお 祈りいたします。 一辰年

◇昭和三十九年の新春を迎

家の光社「地上」に紹 たとく三瓶山麓とは 八名の同志だっ

時間、三つの瓶を伏せたよ 原野は従来和牛の放牧地と 温泉、それに冬のスキーな 山の峯の下に拡がる宏大な 石見大田市からバスで約一 呂崎県でいえば、えびの高 集団入植したのが東京農 ところです。その一角六 三拍子揃った観光地とし な標高一、二〇〇米の火 目下市が開発に大わらは て利用され、風光の美と のような所です。山陰線 一ヘクタールの地に乳牛 の協業経営を実現すべ 始めました。 (二七才) から説明を聞き スコミに報道されたもの いや皆さん雑誌や其他の ーダー格の黒井昇さん

を越しましたが昨年の大雪りです。牛も一時は五十頭 を造って当分は我慢する積 とをやっているかと期待し ですからどんな素晴しいこ も雨露をしのぐ程度のもの が御覧の通り私達は大部分 の施設は自分の手で、それ 円の粗収入を挙げる計画 ねばなりません。 (四米も積った) 生活もうんと切りつ か九頭に過ぎません 搾乳して 飼料も もなくぶしつけな質問など のちん入を別段敬遠する風 なったからです 食堂となる広間があり其処 同住宅は中央に台所兼居間 ました。八人が生活する共 ならないことに疑問も感じ 間に六畳敷きの部屋が各 い奥さんが三人忙しく 始めの予定では此 いましたが我々

ムです。

を希望するでしょう」と割 貴重な時間に思えました。 ればやはり別々に住むこと 合ったこの座談会は真に 人ではなく皆が同じに苦 いては「その方が便利で 然し必要でなくな しているのです

土地の斡旋や資金の

たありのまゝの姿は決 達が現地についてひと

代表して刺を通じると年 の常務さんがあいそよく迎 助役さんと二人、一同を

五六頭放牧され 平坦部に簡単な追込舎と飲 つめたところに斜面をヒナ のようにブルで造地して トがあえぎあえぎ登り ールの牧草地が

等に聞

を傍らに添えて大きな自 てわざわざ 石に刻み双詩魂を静かな 白き波たちほととぎす啼 窓前の瀬戸はいつしか瀬 となりぬ

ようかル

年位の間にその大部分がそ 職して行ったはずなのに早 験者です。彼等は、学校卒募者の約八○%は、就職体 業と同時に父兄や先生には の職場に見切りをつけて けまされ、希望に燃えて就 ものは二、三ヶ月から 最近自衛隊を志願する応 転業の動機を彼

次第です。

見た就職戦線 は二十 七年の秋)

情詩味を噛みしめて繰り返 志子未亡人が此島を訪れた なかみ」を編集した。又喜 邸に身を寄せ歌集「み (牧水は大正二年五 十九才)父逝去の 度上京の途上又 職を二転、三転するうちに になるものはよいとして、

的にも身分的にも保証されてえない気がします。経済 をみるとあながち「今の若 全な人間形成に意義を見出 によって心、身、技とも健 し、おそまきながら自衛官 体規律訓練を受けること 等にあるようです。これ 不安をもつー

○将来性に疑問をもつ っても臨時工では

なり

高額を、支出面は寮費、食面は時間外労働を含めた最 ○給料の手取額が意外に少 求人のとき示された収入 低額を示す傾向が

りぬ

しての期間が長い。 体には熟練工は一〇 かオートメイション **吋雇い」の形にして** 体は不況時に備えて 百理化が進んで最近 が有利であるといわ 仕事が単純である 人件費のかからな 職

ルとびたり 小とびたり

牧野組合を作って管理して 案内者の話では総工費三〇 経営は楽ではないとのこと くよいが金がかゝり過ぎて 草の生育はすばら 0 新 の農家 愛 よい見学をすることが出来 又心配です。それにして、 大低牧野化出来るわけです が金がかゝり過ぎるのでは 地出来るなら東郷村の 0

りの仔牛が出場しており、 んでいるのですが上級機関 の考えと仲々一 います」との話、 セリ市場には二百頭ば なと感じました。 道すがら話題 一年前から取 れる

そしてこの人達を成功させ

んな急斜面迄ブ

ることが出来ないようなら

構造改善事業でつけ焼刃の

てくれたこの人達になにも もてなしが出来なかったの 仕事の疲れもいとわず来 うでしたが一行の意見では 回あり一回に六〇〇内 万内至五万円程度、牡は二 判定でした。セリ市は年 寸聞き取り兼ねる句調でせ 所謂旗振りさんが旗では 次々に取引されて行きます くて扇子を持って何やら一 回あり一回に六○○内至判定でした。セリ市は年四年の品質は仲々立派だとの 一万円と云ったところのよ て行くのも珍らしく感じ した。価額は大体牝で三

> に於ては古今の歌人列中 十に近づくという。其の量

> > 幾日をこゝに宿りましけ

ない。

かき身に余るうれひを

牧水の歌碑数はやがて四

海

野

実

の企業は

歌

碑

(以下次号)

トップを切っており尚其

ており尚其の

で贈り「帰って皆さんで元 で私達は奥さん達にお菓子 の中から手を振る若い夫婦 酒二本を村長の名 宿を去る自動車 」と励ま ゝますから生産農家も多 母牛の登録点数七十 ○○○頭位出場すると

ように思えました。 達の眼に光るものがあ 十二月十四日 か」と運ちゃんに聞く います。 が町内に入ると何だ 船岡農協に向いま 「何かあるの

を並び建てた韶い豊かな質

為帰郷し再

の新歌碑の出現だ!!

それは喜志子未亡人の玉詠

新たな朗報をもたらし度

し吟唱しょう。

も云えよう。所で茲に又

女史の追慕

(史の追慕の涙を籠めた敍牧水の風物詠の深さと、

費等の最 あるらし

ら尾ノ道にかけての芸予

場所は瀬戸内海ー今治

島中の岩城島で、島の徳望

曾て牧水が

成程途中郡畜連の看板の掲 鳥取市から因美線で十五 人の往来が多く活気を呈 しと教えてくれました。 「今日は仔牛のセリ市で 是非見ておいでなさ

て結ばれた仲だと云うからも彼等の仕事に将来を賭けれるそうでいづれ

頼もしいと思いました。

か、将来に不安を感じま

「現状を悲観していませ

んなに資本投下を恐れねば

身だし、地元の農家の娘さ

耗することでもあり、 んが随分と時間と労力を

敬すべき努力に違いあり

生涯を共にすべく結婚した

ゝありました。確かに

なっているらしく多勢の人った建物の一部がセリ場に 仔牛が多数つながれてい った建物 た。其処を素通りして町 隣接した広場には

あるバラック建ての農協に 思われました。 %を占めているそうです。 点以上のものが全体の三十 さすがは鳥取牛の本場だと

ロ程離れた山の急斜面に 事業を取入れ、町 然し此所でも最近の価

は役場の自動車にすし詰め牧場が作られました。私達 にされて名産廿世紀梨の の変動と肉牛生産の多頭 昨年高度集約牧野造 から二

或年の初夏の候、島の風光 設に係るもの。 局き旧家、三浦敏夫氏の建

旅装を解き、滞在中詠んだ 美にあるがれ来て三浦邸に 一が亡夫を偲ぶ至情に燃え の。それに後年喜志子 航りきての感吟

人が増加するのは何故でし

て不良化して行く者が少な 社会の悪路に足を踏み入れ

%も居ればよいといわれて 割薪を積みはえて地のゆた りそう りそう となり居て 暮れを 下ればおのずと唄 かたく~ 斧握りしが日の の秋深みゆく里の静けさ 山の陽は素直に照りてしづ れたり
れたり
れたり 世紀 少年吾子の我心は強 なく。吾子は晩秋の野菊手登りゆく山遠けれど愚痴も 装ひのまま残るさびしさ枯竹にからむ朝顔その夏の 吾子よ素直に道ふみ行けよ病身の父を相手に切る大樹